

上高地旅行-II

平成20年(2008)10月6-8日
撮影・編集：山本 哲雄

昨年の上高地ですばらしい景色を堪能し、紅葉の上高地も見てみたい気持ちが膨らみ、今回の旅行となつた。SFSNET会員の親睦と健康増進の目的で「あれそれ会」として市川隊長を中心にトレッキングを企画実行してきた。

日程

- 10月6日 藤沢→河童橋→徳澤園→横尾山荘泊
7日 横尾→涸沢ヒュッテ→横尾→徳澤園泊
8日 徳澤園→明神池→河童橋→ウェ斯顿碑→田代池→大正池→バスで藤沢(予定)

6日の朝は昨年と同じ雨の中を出発した。午後から良くなるとの天気予報に期待して。

6時55分藤沢出発、湘南バイパス東名、中央高速、御殿場SAに8時20分着、

(隊長がバスの中で紹介された重要なこと)

足がつる原因は筋肉の水分の不足によるそうだ。万が一つたら水分補給すると良い。

(隊長があせったこと)

参加者からの会費が10000円多く、その理由を必至に考え、たまらなくなり皆に発表！(正直です隊長は)

11時20分松本IC(小雨)12時20分河童橋到着(雨)13時昼食後宿泊地横尾山荘向け雨の中を出発。1時間ほど歩いて、明神池附近で雨が上がりほつとした。昨年に続きまたしても幸運の女神に会えた感じ。



雨の中河童橋を出発(藤方さん撮影)



ちょっと明るくなったところで写真休止(坂間さん撮影)



徳澤園へ(坂間さん撮影)



雨上がりの明神橋を右岸北側より

河童橋から 徳澤園へ



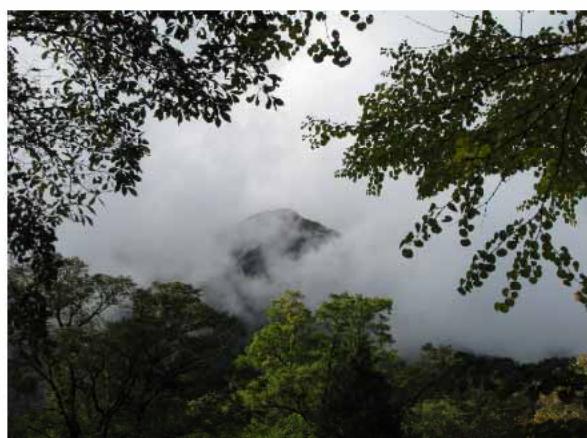
雨がすっかり上がり、日がさしてきた

紅葉の兆しはあるが、まだまだ



徳澤園着 (15:05)

元気に徳澤園に到着 (15:05) し横へ向けて出発 (15:20)



徳澤園前の牧場跡のキャンプ場より
(昭和9年に牧場はやめたそうだ)

徳澤園前より前穂高岳を臨む



屏風岩の雄姿も雲間に現れた！！(16:19)



真新しいカメラの設定を確認する竹内さん

横尾山荘へ



最初の紅葉に感動して(16:20)



横尾山荘着(16:26)



横尾山荘客室(17:05)



夕食(18:05)

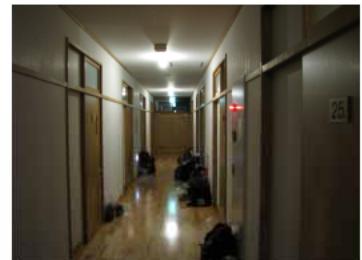


満点の星空であったが、撮れたのは手振れ橋ゆれで月と金星(19:12)





談話室での語らい(19:55)
横尾山荘内



蝶ヶ岳登山組み出発(5:43)



横尾山荘から涸沢へ(10月7日)



朝日に赤く輝く前穂高岳(5:50)



唐沢ヒュッテを目指すグループの出発前の記念写真(6:33)



出発前の体操(藤方さん撮影)

この後6:37出発



屏風岩に近づいてきた(7:00)



屏風岩の正面に回ってきた(7:20)



屏風岩も紅葉が始まっていた(7:30)



キンリョウソウ(昨年7月撮影)



大天井岳の方角 (7:36)



本谷橋 (7:50) 小休止

(藤方さん撮影)



本谷橋 (7:55) 小休止



本谷橋 (藤方さん撮影)



紅葉が手の届くあたりにも広がってきた (8:52)

本谷橋を8時に出発し、30分後標高1900mに登ってきた



屏風岩の真下の瓦礫 (8:56)



昨年の最高地点に着いた (9:40)



昨年はこの地点は雪渓に覆われていた



紅葉がどんどん目の前に広がり始めた(9:45)



(10:10)



昨年の最高地点から30分ヒュッテまでまだまだ



この坂は意外にきつい(10:16)



空気が薄くなったのか一休み(10:21)

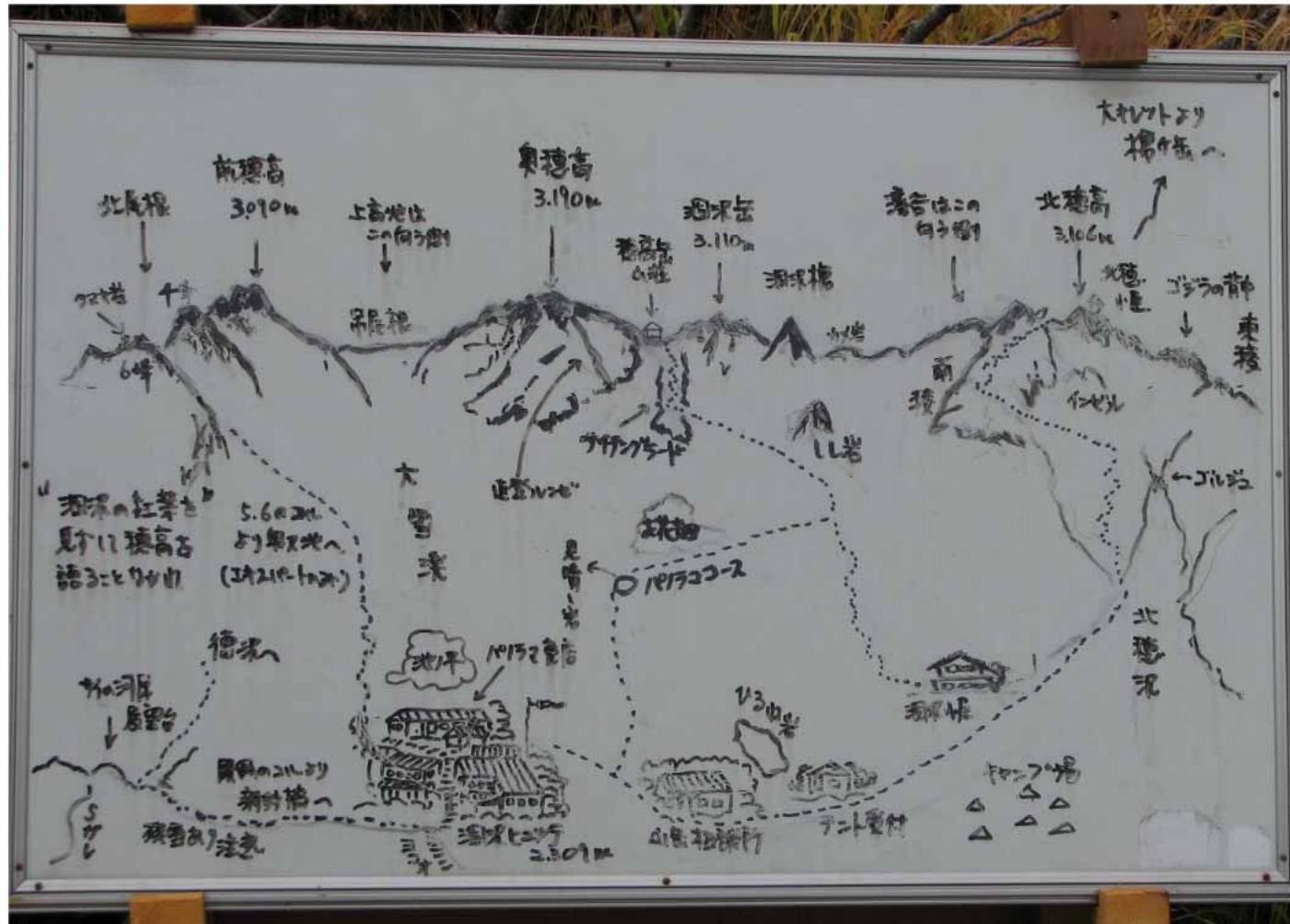


屏風岩と遠くの東天井岳、横通岳(10:22)

涸沢ヒュッテまであと1分。
丁度この時ヘリコプターが着陸
(10:24)
元気な先頭グループはもう着いて
昼ごはんを済ませているだろうか？



涸沢ヒュッテ展望台から見上げる山々



すばらしい天気に恵まれ、期待通りに進んで紅葉の中で



唐沢岳 (10:59)



元気に8人が目標の涸沢ヒュッテ展望台に集合 (10:55)



涸沢槍とナナカマド (11:01)



紅葉したナナカマドの脇の登山客とテント



良い天気で気持ちが良かった
(朝倉さん撮影)



涸沢ヒュッテから涸沢山荘を望む

涸沢ヒュッテを11:30出発して横尾山荘を経て徳澤園へ



個沢ヒュッテと涸沢山荘との分岐点(11:45)

藤方さん撮影(11:46)



途中で涸沢岳を振り返る(11:55)

涸沢岳が見える最後の地点かな(12:00)



昨年の最高地点附近で涸沢岳に無事の下山を祈って別れを告げ下山(12:10)



本谷橋(13:46)



隊長が約40年前に記念撮影をした巨岩(14:29)



5人無事横尾山荘前まで下山(14:40)

前を歩いていた3人は14:20分ここを出発し徳澤園へ



梓川沿いの自然林も紅葉が始まっていた(15:13)



15:42新村橋まで戻った

目標の16時までに徳澤園へ急ぐ



徳澤園での緊急ミーティング(18:19)

ここで隊長の様子が伝えられた



徳澤園での夕食



徳澤園での朝食（10月8日）





前穂高岳



坂間さん撮影

徳澤園前から前穂高岳を見上げて





梓川左岸の小さなきれいな池(8:54)



明神橋(9.31)



明神池



鏡のような池面に映る明神岳



明神池奥の安らぎの石庭



良く磨かれた鏡(池)に映る



明神池の紅葉



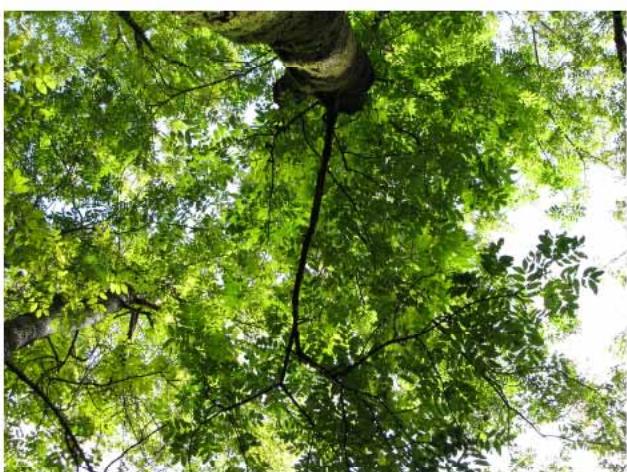
イチイ (いちい科)

一名アラギ
本州中部では亞高
木に今を サーのサを立
を作ったことから正一位從
位にちなんで名づけたと言わ
れる。様起がよいので材は床
や庭木や盆栽としても貴ばれ
ている。



シナノキ (しなのき科)

樹皮がやわらかくて強く綱
や籠等に用いてきた。且
県以北の温帯に多く分
布する。京都に最も近い長野県
から紙を献上させ信濃の国名
はシナノキが多いので名づけ
たと言われる。シナとはアイ
ヌ語で結ぶ意味



シナノキの日に映えるみどり

ビジターセンターでの展示より4枚



凍る大正池と穂高 -大正池湖畔から-
内田良平氏作品 右としたの作者は記録忘れました



冬の田代池



小梨平の食堂での昼食（チャーシュウとビール、そば）

河童橋からバスで帰路に(13:05)、大正池を見ながら



昨年より水が多く、撮影したご神木は水の中のようだ



入院していた波田総合病院で隊長を迎えた(14:35)

夕方救急車での入院であったこと足の状態確認の診察の為夕食をとれず、山の非常食で夕飯を済ませたのこと

松本IC14:45、談合坂SA16:29～45、相模湖IC16:55



相模湖ICから厚木へのバス内(18:10)



無事の藤沢帰還を祝い、隊長の早期回復を祈って

